

和歌山県白浜町海岸へ漂着した熱帯系の海藻

久保田 信*

Shin KUBOTA: Stranded tropical sea algae at a coast of Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

過去10年余り、和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の周辺海域で漂着物の調査をできる限り毎日1回実施しているが、数年前の夏に、熱帯系の海藻が生きたまま新鮮な状態で一度だけ通称“北浜”に漂着したので報告する。

緑藻類カサノリ科のカサノリ *Acetabularia ryukyuensis* OKAMURA et YAMADA らしき種とイソスギナ *Halicoryne wrightii* HARVEY が、直径13 cmのプラスチック製の円盤(おもちゃのタイヤと思われる)の両面や側面にびっしり付着し、すべて緑色で生きていた(図1)。両種は普段は沖縄地方などの内湾の静かな場所に生育しており(屋比久, 2004)、そこからはるばると海流に乗って当地まで流れ着いたものと推測される。なお、この円盤には付着動物であるマット状のコケムシ類がごくわずかに付着していた(図1)。

白浜町海域の海藻はよく調べられているが(鯨坂・大和, 1999)、2種とも自生の種ではない。しかし、白浜海域から記録されている海藻類(漂着種も含む)は1982年までに445種・変種・品種(型)が記録されており、カサノリ科ではイソスギナやヒナカサノリ *Parvocaulis*

parvula (SOLMS-LAUBACH) BERGER et al. およびウスユキガサ (*Acetabularia parvula* SOLMS-LAUBACH: 日本産海藻目録になし) がリストにある(山本, 1982)。このうちイソスギナは1964年12月5日に袋湾で発見され、ヒナカサノリ(本材料はこれとは異なる)は瀬戸のエビ網に1953年3月8日にかかっている(山本, 1982)。

謝 辞

海藻を同定して下さい、原稿を読んで直して下さい京都大学の鯨坂哲朗博士に深謝します。

引用文献

- 鯨坂哲朗・大和茂之. 1999: 藻類採集地案内 南紀白浜(和歌山県西牟婁郡白浜町). 藻類, 47, 135-138.
屋比久壮実. 2004: 沖縄のサンゴ礁を楽しむ 磯の生き物. 127 pp., アクアコーラル企画, 沖縄県宜野湾市.
山本虎夫. 1982: 白浜海域産藻類, pp. 255-272, *In* 白浜町誌自然編 白浜の自然, 和歌山県西牟婁郡白浜町.
吉田忠生・寫田 智・吉永一男・中島 泰. 2005: 日本産海藻目録 (2005年改定版), 藻類, 53, 79-228.

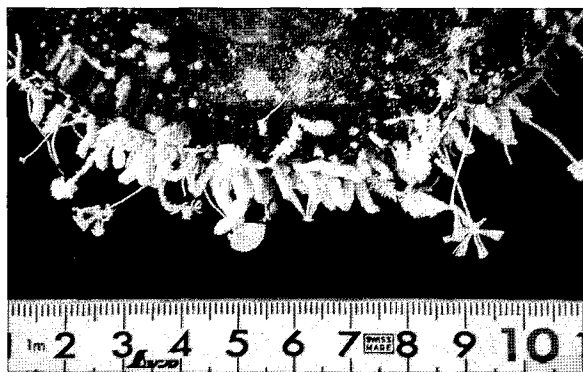


図1 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へ漂着したイソスギナとカサノリ類(死亡後に撮影)。

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
email: shkubota@medusanpolyp.mbox.media.kyoto-u.ac.jp